

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区

基本計画検討委員会(第5回)

検討資料 2

キトラ古墳周辺地区整備基本計画(案)の検討

平成17年3月15日

社団法人 日本公園緑地協会

1 . 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備基本計画(案)の修正について

新旧対照表

修正理由	修正前	修正後
計画地の位置を示す図の追加	-	【p1・図】 キトラ古墳周辺地区および国営飛鳥歴史公園既存地区の位置図の挿入
前提条件のまとめの項の追加	-	【p2・ 1】 「キトラ古墳周辺地区の整備にあたっては、…(以下長文のため要約) 上位計画及び関連計画 国営飛鳥歴史公園の実績と機能 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の条件 飛鳥地方に求められる国民からのニーズ」
パブリックコメントでの現況の保全を求める声が多かったことによる、古墳周辺の環境の保全を第1義的とすることを明示する文章の修正	【p1・ 13】 「このような経緯のもと、明日香村にあって国営飛鳥歴史公園は、これまで歴史的風土の保存や文化財周辺の環境保全に寄与してきた実績を踏まえながら、飛鳥周遊の拠点、地域との連携、利便性の提供など国民の様々なニーズに応じた新たな機能展開を図る必要があるが、歴史的風土の保存と明日香村の生活環境の整備等に寄与する役割を考慮し、」	【p3・ 1】 「このような経緯のもと、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区は、飛鳥周遊の拠点、地域との連携、利便性の提供など国民の様々なニーズに応じた新たな機能展開を図る必要がある。このため国営飛鳥歴史公園の既存4地区が、これまで歴史的風土の保存や文化財周辺の環境保全に寄与し、立地特性に応じた機能を発揮してきた実績を踏まえながら、以下の目的を定めることとする。なお、特別史跡となったキトラ古墳周辺の環境を保全することを第一義に考え、地形や景観をできる限り残し、必要最小限の整備を心がけることとする。」
パブリックコメントでの大陸とのかかわりや、また檜隈寺跡の史跡指定による東アジアとの交流を明示する語句の追加	【p3・ 10】 「(工)地域活性化と参加交流の拠点づくり」	【p3・ 10】 「(工)地域活性化と東アジア圏との参加交流の拠点づくり」
その他		文章の表現の修正ならびに図面類の方角の統一

2 . 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区基本計画(案)

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備基本計画(案)	1
（1）国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備の前提と目的	1
（2）国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備の基本方針	4
（3）ゾーニング計画	6
（4）導入する公園施設の概要	10

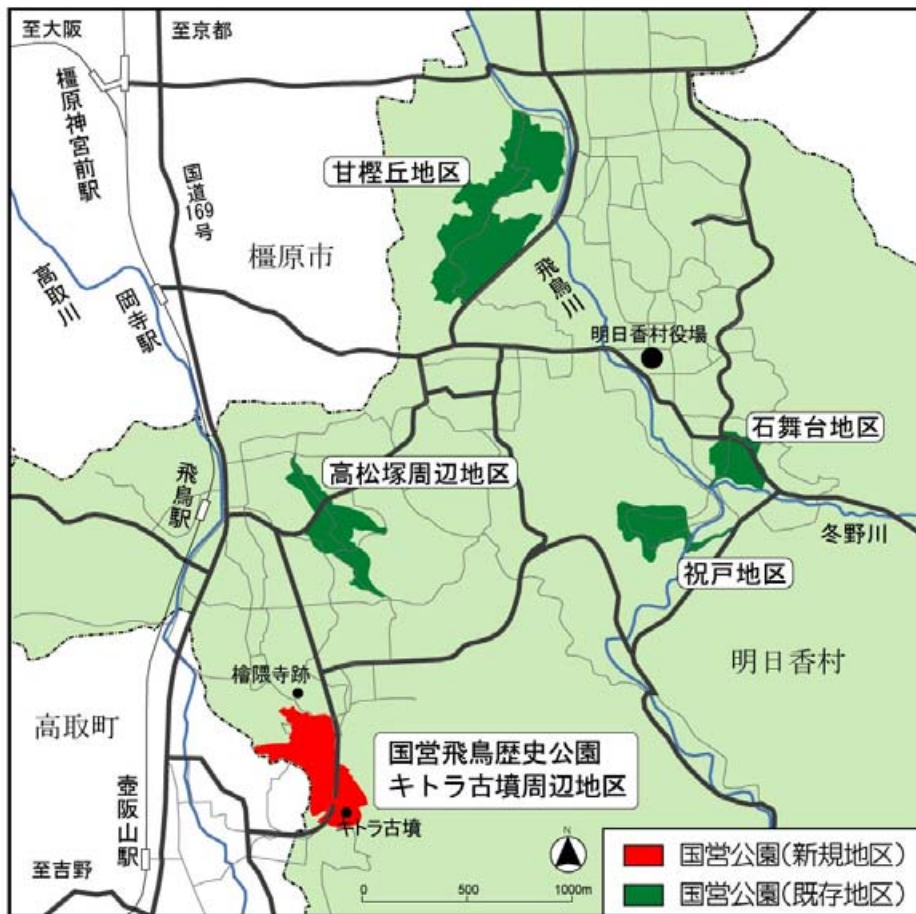
国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備基本計画(案)

(1) 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備の前提と目的

昭和 58 年に壁画が発見されたキトラ古墳は、その後の調査により星宿図や四神の精緻な壁画が確認されるなど学術上極めて価値の高い文化財として平成 12 年 11 月 24 日に特別史跡指定された高松塚古墳に匹敵する飛鳥の枢要な文化財である。

本遺跡をその周辺の自然環境や田園環境とあわせて一体的に保全するとともに、広く国民が利用できる空間として整備する必要があるため、平成 13 年 3 月 16 日に閣議決定「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環としての都市公園の整備について」が行なわれ、飛鳥地方の歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環として、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区が国営飛鳥歴史公園の一部として明日香村大字桧前、大根田、阿部山、栗原の各地内に約 14ha の面積で整備することが決定された。

国営飛鳥歴史公園 位置図



国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備にあたっては、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法の趣旨、歴史的風土審議会における建議、及び国営飛鳥歴史公園設置の整備方針（建設大臣決定）をもとに、関連する諸事業の進捗状況や、周辺区域や関係自治体の意向も踏まえた計画が求められている。

上位計画及び関連計画

歴史的風土審議会答申

明日香村の歴史的風土は「日本人の心のふるさとであるとともに村民が暮らし生活を営む場」

凍結的保存から「創造的維持保全活用」へ
守るべき歴史的風土は「歴史的文化遺産と自然的人文的環境が一体をなしたものであり『いまは見えない』潜在的遺産が存在する場」

文化財周辺の環境保全の重要性を認識
保全に向けた施策は「地域住民と国民の理解協力・積極的関与によって推進」

明日香村整備計画

国民による各種参加活動の下に保全
歴史的風土の保存と村民の生活との調和を図りながら村民が誇りと自覚を持って生き生きと暮らせる場

歴史資源の活用と地域活性化と明日香村が提唱している
「全村まるごと博物館構想」の展開

国営飛鳥歴史公園の実績と機能

国営飛鳥歴史公園の実績

特別史跡を含む文化財周辺の環境保全と休憩機能、利便機能の提供

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の条件

地区の立地条件

第二種歴史的風土保存地区、第二・三種風致地区での文化財周辺の環境保全
村営近隣公園計画地、古都法買入地と隣接するため、国・県・村の事業連携
耕作放棄地の存在・周辺樹林の放置化が進む箇所での歴史的風景の再生

文化財・歴史遺産

キトラ古墳壁画の持つ古代の時空間の活用
檜隈寺跡の存在による東アジアとの交流

風土条件

文化財と一体となった歴史的風土の保存

飛鳥地方に求められる国民からのニーズ

- ・「日本人の心のふるさと明日香村」の景観の保全
- ・古代史・遺跡発掘・古代文化への関心の高さへの対応
- ・体験的歴史学習への欲求の増大
- ・田園管理・里山管理など自然環境の維持体験への参加意欲の増大

このような経緯のもと、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区は、飛鳥周遊の拠点、地域との連携、利便性の提供など国民の様々なニーズに応じた新たな機能展開を図る必要がある。

このため国営飛鳥歴史公園の既存4地区が、これまで歴史的風土の保存や文化財周辺の環境保全に寄与し、立地特性に応じた機能を発揮してきた実績を踏まえながら、以下の目的を定めることとする。なお、特別史跡となったキトラ古墳周辺の環境を保全することを第一義に考え、地形や景観をできる限り残し、必要最小限の整備を心がけることとする。

- (ア) 歴史的風土及び文化財等周辺の環境保全の場づくり
- (イ) 歴史的風土及び文化財等の活用による体験学習の場づくり
- (ウ) 歴史的風土の創造的維持保全活用の強化
- (エ) 地域活性化と東アジア圏との参加交流の拠点づくり
- (オ) 高次サービス機能の強化

以上の目的を実現するために、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備テーマを次のように設定する。

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備のテーマ

キトラ古墳の保存と活用、および檜隈寺跡などの周辺の歴史遺産を生かし、東アジアにおける交流で培われた歴史が訴える古代の時空間と生活文化の、歴史と共に育まれた風土の中における体験・学習、あわせて交流を通じた地域の活性化に資する公園づくり

(2) 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備の基本方針

歴史的風土の創造的維持保全活用に向けた国営飛鳥歴史公園全域に求められる新しい役割や、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の立地特性、平成12年度の基本構想検討委員会における整備の基本的考え方を受け、次のような基本方針のもとに整備を進めていく。

1) 基本方針と展開方向

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区は、国営飛鳥歴史公園に求められる多様な役割の中でも歴史的風土及び文化財等の活用による体験学習の機能を主要な機能と位置付けられることから、以下の4点を基本方針とする。

キトラ古墳の保全整備計画と連携し、人々に感動を与える古墳周辺の環境整備を図る

- ・文化財周辺の環境保全
- ・文化財周辺の環境創出

キトラ古墳の解説を通じ、飛鳥の歴史に関する情報発信・学習機能の提供を図る

- ・キトラ古墳にまつわる展示・解説の実施
- ・文化財を通じて遊びながら楽しく学べる体験的歴史学習の場の提供

飛鳥の歴史的風土を味わいながら、ゆったりと過ごせる公園空間の整備を図る

- ・自然・人文環境が一体となった歴史的風土の保存活用
- ・歴史的風土を生かした、散策・休養・眺望の場の整備

質の高い利便性・サービスの提供及び新しい維持管理手法の導入を図る

- ・来園者の利便性の確保
- ・来園者と地元の方々の参加による管理運営やりサイクル等、新しい公園維持管理手法に対応した管理施設の整備

2) 導入機能

国営飛鳥歴史公園整備方針、前掲の基本方針を踏まえ、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区に求められる機能を「史跡や風土を活用した体験学習及び情報提供機能」を基本とし、以下のよう
に設定する。

古墳周辺の環境保全・修景機能

キトラ古墳本体と、それを包蔵する周辺の環境を一体的に保全する。また、古墳周辺の修景整備を行い古墳鑑賞の場の整備を図る。

体験的歴史学習機能

史跡および歴史的風土を誰もが楽しく学ぶことができる体験学習の場の創出を図る。あわせて歴史的風土を構成する田園風景を鑑賞対象として捉えた展示を行う。また、飛鳥時代にさまざまな影響を与えた東アジアとの交流に関する情報収集・発信を行う。

歴史的風土(農地、森林)の保全・創出機能

自然と人文環境が一体となった田園環境の保全を図るとともに、歴史的風土を構成する飛鳥らしい田園環境の質の向上や環境の保全を図る。また、歴史的風土の中での自然とのふれあい、休息、展望、散策等が楽しめる空間を創出する。

飛鳥西南部における情報拠点機能

飛鳥地方に点在し、公園と地域が一体となっている国営飛鳥歴史公園の特徴を踏まえ、来園者の利便性確保のための情報提供や交通サービス施設の整備を図る。

参加と交流を目指した新しい公園管理機能

来園者や地域住民が公園管理に携わり、歴史的風土の保存への理解と参加者同士の交流の場となる拠点施設の整備を図る。

(3) ゾーニング計画

キトラ古墳の保存、体験的歴史学習の場の整備、歴史的風土の保存、情報案内の場など空間利用の観点から、4つのエリアに分け、各エリアにおいて以下のようにゾーンを設定する。

1) 各エリアにおけるゾーン構成について

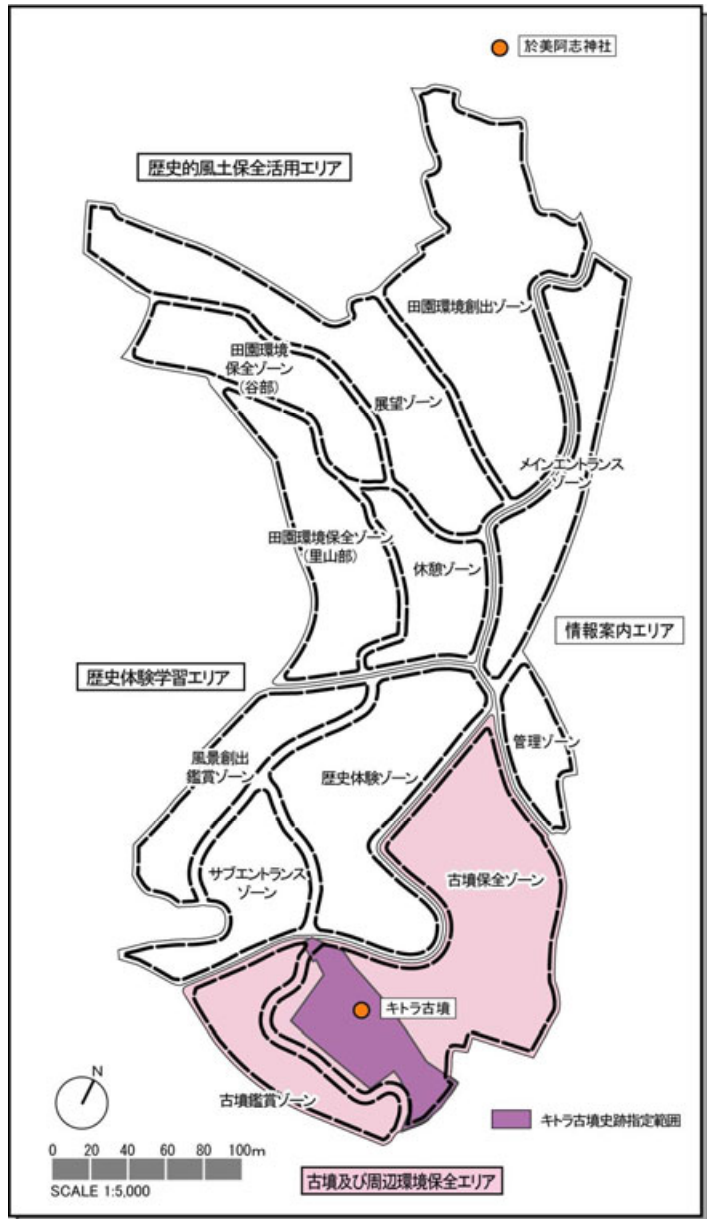
古墳及び周辺環境保全エリア：古墳とその周辺の環境を一体的に保全すべき区域

古墳保全ゾーン

：古墳周辺の樹林地を、古墳本体と一体となった環境として保全するため、樹木の保護や表土の流出を防ぐ地被類の植栽などの高質な管理を行う。

古墳鑑賞ゾーン

：キトラ古墳の全容が見渡せる空間として鑑賞広場を整備するとともに、季節感漂う野の花等による修景を行う。



古墳及び周辺環境保全エリア 位置図

歴史体験学習エリア：キトラ古墳の存在を通じて体験的歴史学習を展開する区域

歴史体験ゾーン

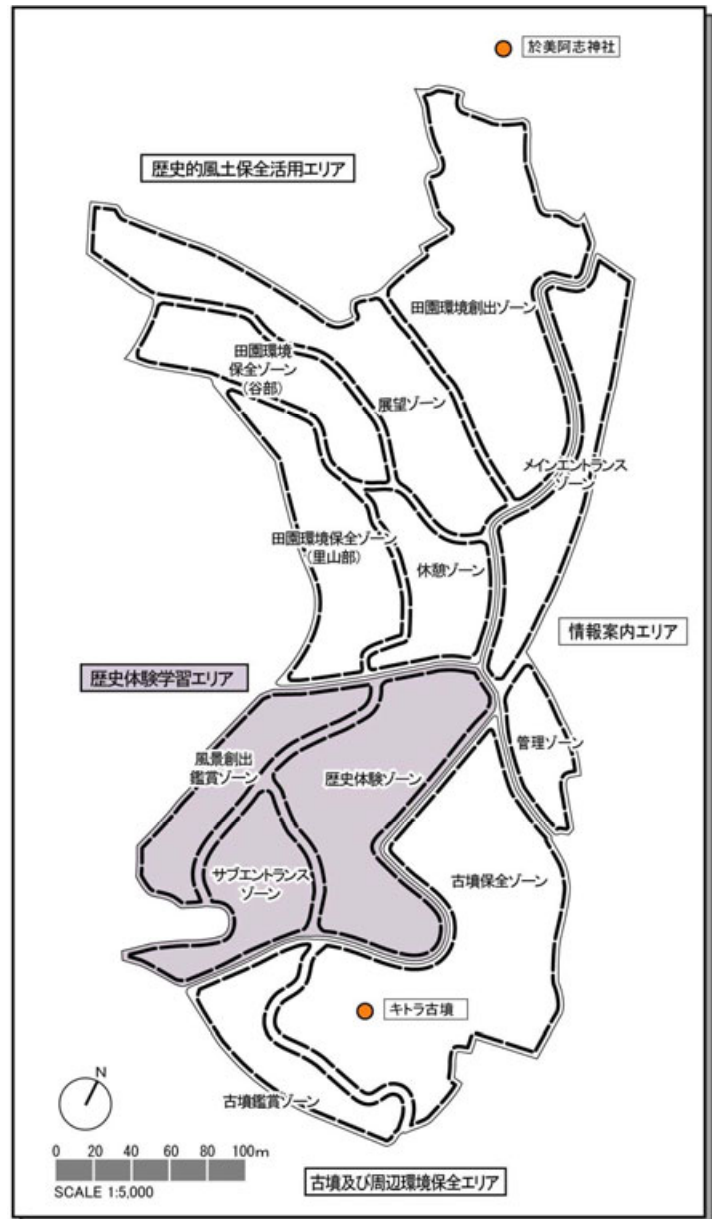
：様々な歴史的文物やレプリカの展示等を行うほか、館内外での体験的歴史学習の中心となる施設を整備する。マルチメディアや双方向型の展示等により、楽しく分かりやすい歴史学習の拠点とし、企画展示やイベント等の企画にも対応していく。また屋外での体験学習の広場として、古代の風習や行事体験、星宿図にちなんだ天文観測など、工夫をこらした企画を展開する場とする。

サブエントランスゾーン

：キトラ古墳への団体客や一時立ち寄り客の利用に対応した駐車場として、大型観光バスの駐車可能な空間とする。また、古墳本体・展示施設に近接することから、自転車来園者のための駐輪場の整備を図る。

風景創出・鑑賞ゾーン

：体験学習広場周辺の斜面地は、公園の骨格的景観を構成するとともに視点場として重要であるため、積極的な修景を図る。



歴史体験学習エリア 位置図

歴史的風土保全活用エリア：歴史的風土を保全しながら、多様な利活用を展開する区域

田園環境保全ゾーン（谷部）

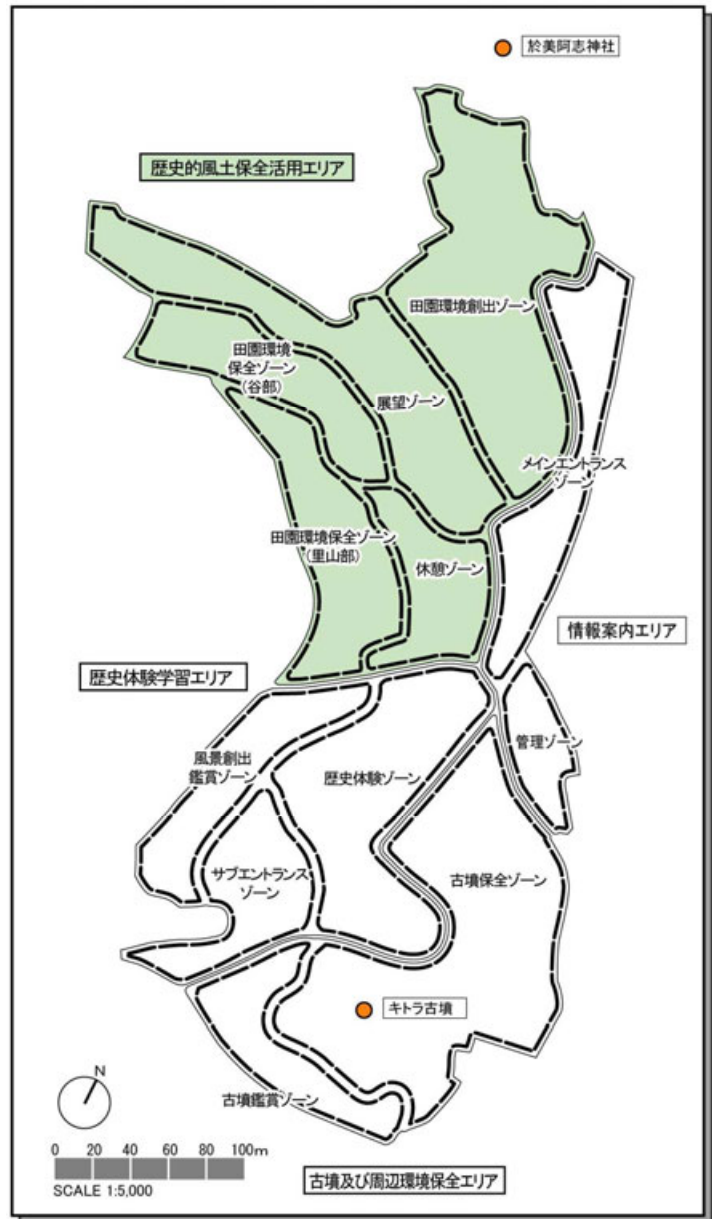
：谷筋に展開する農地と耕作放棄地を活かし、参加型維持管理による棚田空間の保全を行う。斜面やあぜ道などは、在来草本種による修景を行う。

田園環境保全ゾーン（里山部）

：現況の樹林地を参加型による管理で保全を行い、里山空間としての良好な環境づくりを進めていく。また、参加者同士の交流を深めるイベントの開催をあわせて行う。

休憩ゾーン

：三方を緑に囲まれた、ゆったりと休息ができるメインの広場空間とする。サービス機能の充実したメインエントランスゾーンと歴史体験ゾーンとの連携により、さまざまな催しにも対応する。



歴史的風土保全活用エリア 位置図

展望ゾーン

：谷筋と尾根筋が織り成す飛鳥の風土を代表する空間として、イベント開催によって交流を促す空間構成とする。遠景に金剛葛城山系の山並み、近景には大根田集落や棚田景観を望むことができ、周囲の飛鳥らしい風景を鑑賞する視点場としても重要であり、隣接する古都法による買入地等と一体的に保全・修景を行う。

田園環境創出ゾーン

：檜隈寺跡に隣接する場所であることから、田園風景を再生するとともに、渡来人がもたらした大陸文化や先進の技術を体験できる工房群を設置し、当時の生活が体験できる場とする。

情報案内エリア： 国営公園としての利便性を高める各種サービスを提供する区域

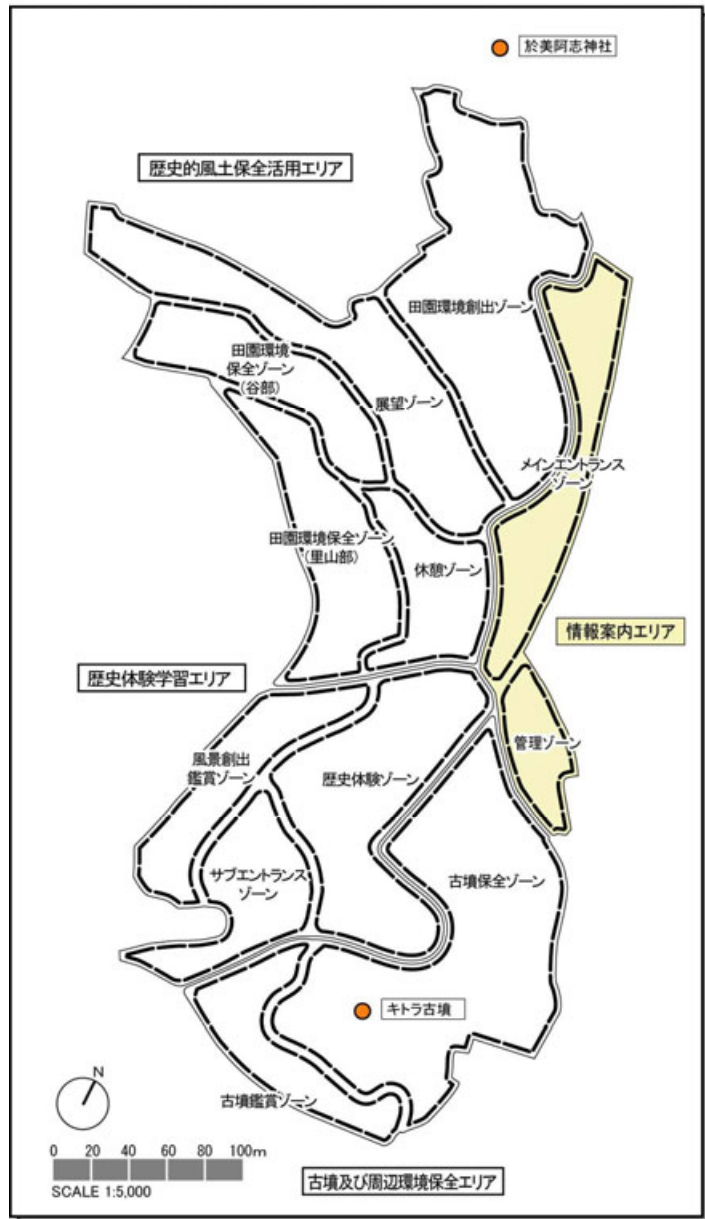
メインエントランスゾーン

： 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区全体のメインゲートとして、情報提供および購買等のサービス提供をおこなう施設とメインの駐車場を設ける。

北には於美阿志神社、東には大根田集落を望む尾根線上に位置することから、景観的に重要な場所であるとともに、エントランスとしての公園の雰囲気づくりが必要な場所である。そのため、設置施設は飛鳥らしい集落景観と調和する民家型とし、農産物をはじめとする地域産品の展示販売などのイベントを行いながら賑やかな空間演出を図る。

管理ゾーン

： 施設全体の管理を担うとともに、ボランティアの活動拠点となる施設の配置や植栽等のバックヤードなど、国営飛鳥歴史公園他地区や飛鳥各地の歴史的風土の保存に寄与するハードとソフトを育てていく場とする。



情報案内エリア 位置図

(4) 導入する公園施設の概要

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区は、来園者が様々な体験を通して、キトラ古墳や古代飛鳥の歴史・文化について遊びながら楽しく学べる公園づくりを目指している。

導入を検討している主な施設は以下のとおりである。

1) 古墳鑑賞広場

特別史跡であるキトラ古墳の歴史的意味を伝える植生や地形などの周辺の環境を保全するため、高質な管理を進めていくとともに、古墳の全容が見渡せるよう広場を設け、季節感漂う野の花等による修景を行う。

2) 体験学習館

キトラ古墳を中心に古天文学や古墳壁画などの古代飛鳥の技術や文化について、見て、聞いて、触れて学べる体験的歴史学習が可能な屋内展示施設を配置する。

3) 体験学習広場

屋外での体験学習の広場を配置し、古代の風習や行事の再現、星宿図にちなんだ天文観測などのイベントなどを実施する。

4) 体験工房

飛鳥時代の当地区周辺は、大陸の技術をもたらした渡来人の里があった場所であるとされることから、こうした歴史文化の継承をおこなうとともに、来園者が当時の飛鳥の文化や技術を学ぶことが出来る体験工房を配置する。来園者が実際に体験しながら学ぶことのできる場とし、専門のインストラクターの指導による単位制の講座や教室を開催する。

5) 農業体験フィールド

棚田景観の保全・再生を目的として、当地区では現況水田及び耕作放棄地を体験フィールドとして位置付け、来園者・地域住民の参加や学校の環境教育を維持管理体制に取り込んだ農地の活用を図っていく。

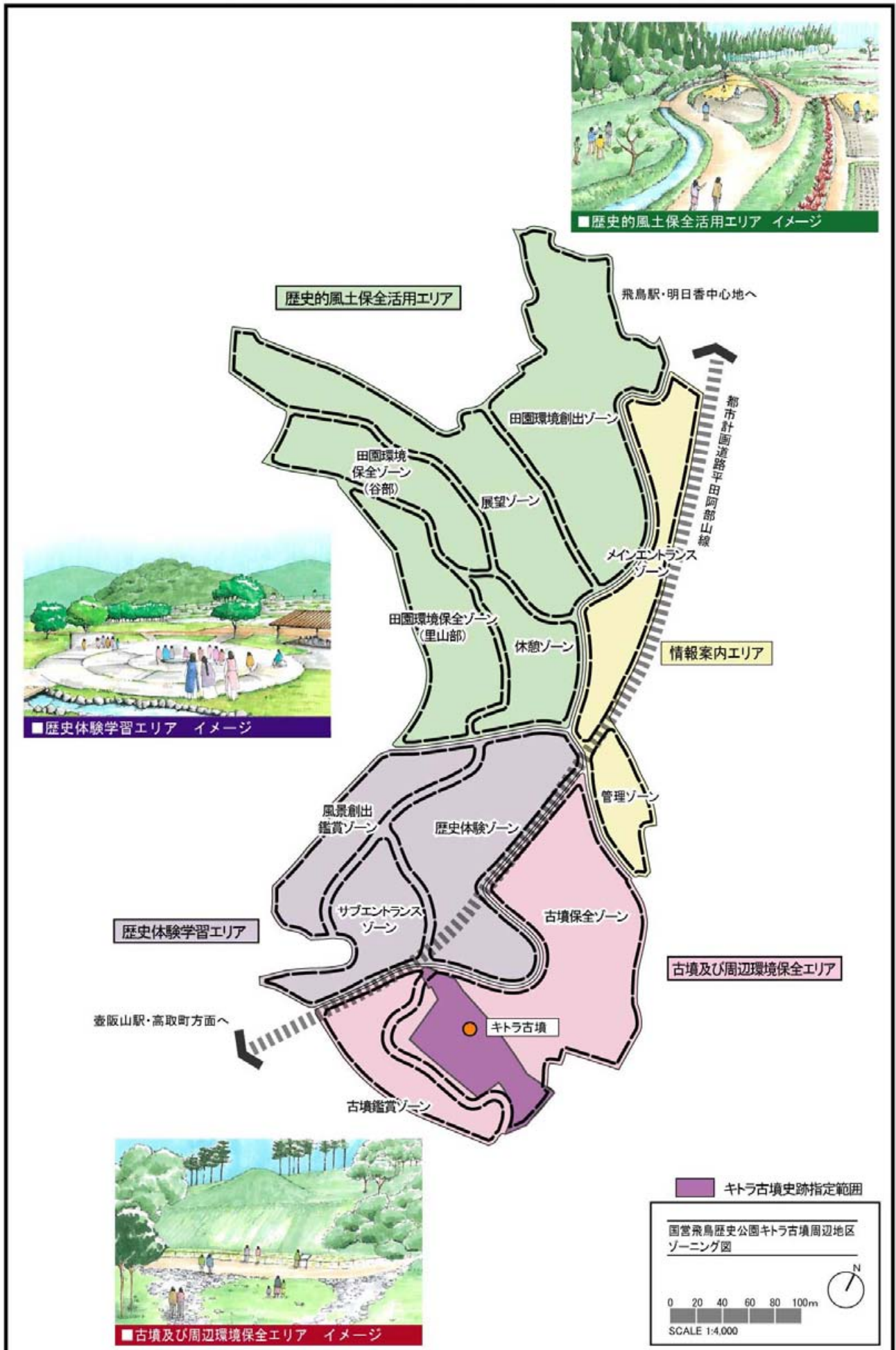
6) 駐車場と循環バスの発着所

自家用車用と大型バス用の駐車場を配置し、村内循環バスの発着所とレンタサイクルのターミナルを合わせて、パークアンドライドの拠点とする。また、飛鳥周遊の結節点としての情報提供サービスを行い、来園者の利便性の確保を目指す。

7) ボランティアの活動拠点

農地および樹林地の管理を地元の方々と協力しながら実施し、周辺の風景と調和した公園づくりを目指す。また、公園管理や展示解説等に関するボランティアの育成を行うとともに諸活動の拠点となる場所を提供するなどの支援を図る。

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区 ゾーニング計画図



国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備基本計画図

